



2023年2月9日

各位

会社名 スルガ銀行株式会社  
代表者名 取締役社長 嵯峨 行介  
(コード番号 8358 東証プライム)  
問合せ先 上席執行役員  
総合企画本部長 秋田 達也  
(TEL 03-3279-5536)

## 保有有価証券の売却等に伴う損失の計上及び 2023年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、現在策定中の次期中期経営計画(2023年度～2025年度)のスタートを見据え、「有価証券ポートフォリオの再構築」を目的として損失を計上し、また実質与信費用が減少する見込みであることなどを踏まえ、2022年11月11日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

### 1. 通期業績予想の修正について

2023年3月期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	経常収益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	86,000	11,000	10,000	53.08
今回修正予想 (B)	86,000	11,000	9,000	47.77
増減額 (B-A)	0	0	△1,000	
増減率 (%)	0	0	△10.0	
(参考)前期実績 (2022年3月期)	92,072	10,596	7,960	34.72

2023年3月期個別業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	経常収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	77,000	10,000	9,500	50.43
今回修正予想 (B)	77,000	10,000	8,500	45.12
増減額 (B-A)	0	0	△1,000	
増減率 (%)	0	0	△10.5	
(参考)前期実績 (2022年3月期)	83,658	10,093	7,854	34.26

## 2. 主な修正の理由

### (1) 有価証券ポートフォリオの再構築

世界的な景気後退懸念の高まりやインフレ高止まりのリスク等を踏まえ、評価損を抱えるマルチアセットファンドを中心に圧縮し、有価証券ポートフォリオを再構築いたします。これに伴い、償還損等を約110億円計上する見込みです。次期中期経営計画においては、有価証券運用における安定的な収益構造への転換を進めてまいります。

### (2) 実質与信費用

第3四半期においては、組織的な交渉等の動きに加え、返済停止などの手段に至った債務者が前回公表時の想定より少なく、予防的引当並びに予想損失率が想定を下回ったため、実質与信費用は前回公表予想比減少する見込みです。

なお、当第3四半期より、貸出条件緩和債権のうち将来の回収の正常化が困難な債務者等について貸倒引当金を積み増しております。

## 【ご参考】

2023年3月期個別業績予想

(単位:億円)

	今回修正予想	前回公表予想	増減額
経常収益	770	770	—
業務粗利益	450	560	△110
経費	370	375	△5
コア業務純益	225	220	5
業務純益	80	175	△95
経常利益	100	100	—
当期純利益	85	95	△10

実質与信費用	10	100	△90
通常発生分	△30	35	△65
シェアハウス関連融資	△35	△30	△5
予防的引当	75	95	△20

※上記の業績予想等につきましては、現時点で当社が合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は予想値と異なる可能性があります。

以上